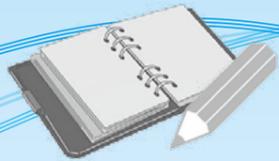


広報委員 放浪記



かたかご 堅香子の花を思う

◆撮影場所 立谷沢地区

春の花といえば桜がすぐに浮かびます。私のおススメはカタクリです。桜は儂さを連想させる春の代表格ですが、カタクリは儂さと切なさをおもった花です。それは種から発芽して花が咲くまで5年以上の年月が必要で、楕円形の葉が2葉目をつけないと花芽をつけない花だからです。最近では、山菜料理の一品として市場やネット等に出回っているケースもあります。昔々は片栗粉の原料に使われたり、漢方薬として使用されてきました。現在は観賞用としても人気のあるカタクリが大量生産・大量消費社会の中で、さらに希少な花になってしまわない様に願っています。花が咲き終わると、茎や葉ごと存在感も薄れ、散ってしまうカタクリは、やはり儂さと切なさをおもった花です。



●取材／広報委員 ㊦

小出新田公民館

◆撮影場所 小出新田

小出新田集落のちょうど真ん中辺りにある公民館の建物を見ると、いつも何だか昔懐かしい感じがしていました。そして、長い間、なぜそういう気持ちになるのだろうかと考えながら、車で通り過ぎていたのです。

そこで、地域の方にお話をお聞きしたり、小出新田の「部落のあゆみ」等を読んだりして調べてみました。すると、昭和の初めころにさかのぼることが分かりました。古関の大和尋常高等小学校と廻館尋常小学校が合併し、昭和8年に新しい大和尋常高等小学校が南野にできたのです。そして、古関にあった大和尋常高等小学校の建物を、小出新田に移築したということでした。懐かしいと感じていたことが、このことから納得しました。

この建物のことを振り返ると、移築されてから80年ほど、その前は、校舎として使われていたことから、少なくとも100年以上の歴史をつないできたことが分かります。明治から平成と移り変わってきた時代が、また新しい年号になり、小出新田公民館は、これからも地域の中心として、住民を見守り続けていくと思います。



●取材／広報委員 ㊦

庄内町の文化財

円空作 観音菩薩立像

寺伝によれば、見政寺を訪れた遊行僧が羽黒の荒沢から北楯大堰を伝って当寺にたどりつき、世話になったお礼のしるしとして残していったものといわれており、それ以来、安産観音として、民間の信仰が厚くありました。昭和47年5月に行った調査の結果では、在銘はないものの京都の研究者五来重博士に照会し、円空仏であることを確認しました。円空は江戸初期の僧侶で、美濃国竹ヶ鼻（岐阜県羽島市上中島町）に生まれ、若くして仏門にはいり、天台僧として、つねに諸国遍歴の旅を続けました。その足跡は、東日本一帯に及んでいます。元禄8年（1695）故郷美濃の弥勒寺で没しています。山形県では円空の作品が未発見だったので、貴重な発見です。昭和48年2月に町指定文化財に指定されました。



2/24 しょうないこどもランド in青年部フェア



町内外から約1,200人が来場し、はたらく車の乗車や、廃材や畳での小物づくり、お札数え体験などのお仕事体験を楽しみました。

3/6 あそぼの日 わいわいクッキング



お米を楕円形状にして焼く五平餅作りに挑戦しました。ゴマとクルミを入れた味噌だれにつけておいしくいただきました。

3/8 余目RCと余目LCが早期避難宣言に調印



余目ロータリークラブと余目ライオンズクラブが災害時に周囲に呼びかけを行いながら避難することを誓う「早期避難宣言」に調印しました。

3/8 南三陸町と庄内町をつなぐ 南三陸町友好献立給食



南三陸町の漁師のみなさんからいただいたワカメと、南三陸町産の銀鮭を使用した給食が、町内の各幼稚園、小学校、中学校で提供されました。

3/11 黙祷へのご協力を中学生が呼びかけました



東日本大震災から8年を迎える3月11日の地震発生時刻での黙祷へのご協力について、長南優也さん（余目中3年・連枝）が呼びかけを行いました。

3/11 復興への祈りを込めて 立川中生が合唱披露



立川中学校の全校生徒による「3.11希望の灯プロジェクト」が役場立川庁舎で行われ、復興への祈りを込めた合唱を披露しました。

★このほかにも、町ホームページの「しょうない写真館」に町の問題を掲載しています。